

---

# 響け、侵略の歓喜

ぱっつん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

響け、侵略の歓喜

### 【Nコード】

N4331G

### 【作者名】

ぱっつん

### 【あらすじ】

私と兄と兄の友人、あいつ。敵であるあいつは私から何もかも奪っていった・・・何をしてでも勝ち取れ！弱肉強食バトルスタート！！！！

はあはあと息をきらす私。

あいつはにやりと笑って、私を見下す。

「フツ、悔しいか？」

キツと睨みつけてやったけど、それも意味はなさない。  
悔しい。こんなの。

「弱肉強食。それは世の理だろ」

悔しい、悔しい。

ム力つくけど、あいつの言ってることは、正しい。  
だって今まさにあいつは強者として喰らおうとしている。

私はこのままあっけなく、終わりを迎えるんだろうか。  
弱者として、何一つ、守れずに。  
侵略者であるあいつに、されるがままなんて。

「諦める」

諦める？そんなのいや。

諦めたりなんかしない。

だって、諦めたら、そこで全て終わりになってしまっただから。

私は意を決すると、切っ先をあいつに向けた。

私は諦めない。弱者のまま、食べられるなんて嫌だから。

「そりゃー！肉返せー！！」

そう言って箸を、につっきあいつが私から盗った肉に向ける。だけど、それは隣にいた兄に、バシッと頭を叩かれて阻止された。

「いたっ」

「お前は焼肉をちゃんと食べないのか！」

だって、と顔を横にむけると、呆れ顔の兄がいた。

につっきあいつは怒られる私にニヤニヤとした視線を向ける。

くそっ……ムカつく。

「箸のつかみ合いは行儀悪いだろう」

「だって兄さん！あいつが私のテリトリーから、せつかく焼いてた肉盗ったんだよ！？」

そうだ、悪いのはあいつだ。

だいたい兄妹水入らずの焼肉だったのに、

(あいつは兄とも仲いいから)焼肉パーティーに侵入してきたんだ。

人のテリトリーに手をだして、肉を盗んで。

侵略者はあいつだコノヤロー！

「盗られるほうが悪いんだよ」

「キー！ムカつく！！」

焼肉のルールくらい守りなさいよ！そう言ってやると、兄がまた呆れ顔で

「なんだよルールって・・・」

と言ってきた。

よし、せっかくなのでこの際そこんとはつきりさせよう。  
強者に肉を盗られないように。

「いい？焼肉の掟は其二、人の肉はコゲても手出し厳禁、  
其の二、人のテリトリーを侵略するな、其の三、人のテリトリーで肉を焼かない

其の四、タン塩ではじまりカルビでメろ、の四つなの！・・・って  
こらー！肉盗るなー！」

あいつは私が掟について話している間に私のテリトリーの肉を盗る。  
くそう、人の話をきけー！！

「人が大事に育てた肉ばっか盗りやがって！たまには自分で肉焼いてよ！」

「弱い奴は戦場じゃ生き残れんのだよ。本当に大事に育ててたんなら死守してみせろ。」

「いやー、やっぱ人がぬくぬくと大事に焼いた肉を横取りするのは旨いなあ」

「なにをー！！」

「お前らはちゃんと食べる！！肉以外にも野菜だつてあんだろーが」

(食卓は戦場だ、って最初に言ったのは誰だったか)

(後書き)

title: K8958

こういうおばかな話ばかりで面白いですね！。  
ちなみに、主人公は高校生、  
兄とあいつは大学生をイメージして書いてみました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4331g/>

---

響け、侵略の歓喜

2010年11月10日14時42分発行